

セレクト乳剤

有効成分：クレトジム 24.0%
作用機構分類：除草剤分類 1

性状：黄赤色澄明可乳化油状液体
 その他成分：ナフタレン (PRTR・1種) 6.8%
 1,2,4-トリメチルベンゼン (PRTR・1種) 1.2%
 有効年限：3年
 包装：100ml × 60本
 危険物：第4類 第2石油類 危険等級Ⅲ

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	クレトジムを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
あずき	一年生イネ科雑草 (スズメカサヅを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 45 日前まで	35~50ml /10a	100L /10a	1 回	雑草 茎葉 散布 又は 全面 散布	1 回
	スズメカサヅ		50~75ml /10a				
いんげん まめ	一年生イネ科雑草 (スズメカサヅを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 60 日前まで	35~50ml /10a				
	スズメカサヅ		50~75ml /10a				
だいず	一年生イネ科雑草 (スズメカサヅを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 50 日前まで	35~50ml /10a				
		雑草生育期 (イネ科雑草 5~8 葉期) 収穫 50 日前まで	50~75ml /10a				
	スズメカサヅ	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 50 日前まで	50~75ml /10a				
えだまめ	一年生イネ科雑草 (スズメカサヅを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 5~8 葉期) 収穫 14 日前まで	50~75ml /10a				
		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 14 日前まで	35~50ml/ 10a				
	スズメカサヅ	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 14 日前まで	50~75ml /10a				
てんさい	一年生イネ科雑草 (スズメカサヅを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 30 日前まで	35~50ml /10a				
		雑草生育期 (イネ科雑草 5~8 葉期) 収穫 30 日前まで	50~75ml /10a				
	シバムギ レットトップ スズメカサヅ	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 30 日前まで					

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	グリゾムを含 む農薬の 総使用回数
			薬量	希釈 水量			
かんしょ	一年生 イネ科雑草	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 100 日前まで	50~75 ml/10a	100L /10a	1 回	雑草 茎葉 散布 又は 全面 散布	1 回
キャベツ ねぎ だいこん かぼちゃ ひまわり (種子) ばれいしょ		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 30 日前まで					
たまねぎ		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 21 日前まで			3 回以内		3 回 以内
にんじん		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 40 日前まで			1 回		1 回
にんにく		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 30 日前まで			2 回以内		2 回 以内
アスパラガ ス		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫前日まで					
おうぎ		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 30 日前まで			4回以内(1 年間に2回 以内)		4回以内(1 年間に2回 以内)
とうき					6回以内(1 年間に2回 以内)		6回以内(1 年間に2回 以内)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	クレゾムを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
かのこそう	一年生 イネ科 雑草	雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 45 日前まで	75ml /10a	100L /10a	1 回	雑草 茎葉 散布 又は 全面 散布	1 回
だいおう		雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) 収穫 14 日前まで			15 回以内(1 年 間に 3 回以内)		15 回以内(1 年 間に 3 回以内)
甘草					9 回以内(1 年 間に 3 回以内)		9 回以内(1 年 間に 3 回以内)
いぐさ	水田 一年生 イネ科 雑草	落水後雑草生育期 (イネ科雑草 3~5 葉期) (入水 15 日前まで)			3 回 以内	雑草 茎葉 散布 又は 全面 散布(落水)	3 回 以内

[特長]

- * 一年生、多年生を問わず広範なイネ科雑草に高い効果を示します。
- * 従来のイネ科雑草防除用茎葉処理剤では防除が困難なスズメノカタビラにも有効です。
- * イネ科植物と非イネ科植物との間にきわめて高い選択性があるので、マメ類やテンサイ、タマネギなどの広葉作物や非イネ科作物に対して安全に使用できます。

[使用上の注意事項]

- * 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- * 散布液の調製に当たっては、使用の直前に本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから使用すること。
- * イネ科雑草優占のほ場で使用すること。広葉雑草及びカヤツリグサ科雑草などが混在する場合は、これらの雑草に有効な除草剤との体系で使用すること。
- * 展着剤を加用するとより一層効果的である。
- * イネ科雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、時期を逸しないように均一に散布すること。
- * 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布すること。
- * やや遅効性であり、イネ科雑草を完全に枯殺するまでに通常1週間から2週間前後を要するが、スズメノカタビラに対してはさらに期間を要する場合があるので、誤ってまき直しなどしないように注意すること。
- * イネ科作物には薬害をおこすおそれがあるので、周囲にイネ科作物がある場合は、薬剤が飛散しないように注意すること。
- * 激しい降雨の予想される場合は使用をさけること。
- * 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

アリスタライフサイエンス株式会社

www.arystalifescience.jp

[安全使用上の注意事項]

- * 誤飲などのないよう注意すること。
- * 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
- * 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- * かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- * 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。
- * 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意すること。